

川柳教室 第650回

送り先
〒160-0002 東京都
新宿区四谷坂町12-22
VORT四谷坂町5F
公益財団法人 陸修偕行社内
川柳教室係

【課題句「投げる」】

君知るやフォーク投げし杉下さん 陸士60菊池泰三
投げて打つ人氣の高き人は誰 (〃)
人生は投げたら終わり心せよ (〃)
腰入れて相手の力で投げ飛ばせ (〃)

もめぬいて兄はとうとうさじを投げ 東49富田 徹
大差つき野手が投げてる大リーグ (〃)
ピッチャーを投げたらダメと激励す 陸65志村泰元

戦力を投入だとは失礼な 陸66幸田武生
真つ当な投手が投げる変化球 (〃)
ウサギ小屋足投げ出せば壁を蹴る (〃)
小銭投げ大願祈るお賽銭 (〃)
投げ捨てたモラルが造るゴミの山 (〃)
失投と言いつくをする負け投手 (〃)

トランプに匙投げるとも金儲け 陸69鮫島洋二郎
噛み合わぬ言葉投げ合う国家主義 (〃)
夏富士に投入花の月見草 (〃)
身を投げるエプスタインとネズミたち (〃)

ピッチャーの投げるボール吾れ打てず 陸70柳沢今朝友
ベース板届かぬボール空振りで (〃)
孫投げる受けるミットの爺涙 陸75黒澤利光
歳もなくギャルの視線へ投げキッス (〃)
断われぬ丸投げ仕事飲みの後 (〃)
仕事投げ遊びのついで片道キップ (〃)
挫折して身投げる橋に怖気づき (〃)
喧嘩して投げる茶碗を抱きかかえ (〃)
投棄は慣れ親しんだバートナー (〃)
投げ捨てた手紙を燃やし涙干す (〃)

投げ銭は賽銭スパチャ世代差ね 陸78岩田克喜

投げキッス孫にされればおもちゃ屋へ (〃)
草野球投げて打たれて皿洗う (〃)
丸投げの献立聴かれ何でも良い (〃)
ゴミ出しという名のパスを妻が投げ (〃)
全力で投けたボールを犬無視し (〃)
丸投げをタスク共有と言う上司 陸78井上 武

匙を投げ責任のバトンも投げ (〃)
正義掲げルールを投げ捨て不法行動 (〃)
雑念を投げて見えた次の一歩 (〃)
どや顔で投けた言葉に襲われる (〃)

置き配ができるようにとカメラ据え 東49富田 徹
クラス会友を恩師と取り違え (〃)
日本語を議場で汚す質問者 陸65志村泰元
よく言うよ物価あがって飢え死にと (〃)

特売のチラシに釣られ無駄を買う 陸66幸田武生
田舎道ながらスマホでゆうゆうと (〃)
自転車も乗りにくくなる世の移り (〃)
慣らされて鈍感になる物価高 (〃)
酒微量薬大量飯少量 (〃)
個性欠く例句類句のおぼろ月 陸69鮫島洋二郎

トランプを操る人の夏隣 (〃)
山吹の値札をつけて世迷言 (〃)
夏近しイラン相手に西部劇 (〃)
蠶るや習近平の嫌がらせ (〃)
汚れ皿逆に数えて日永かな (〃)
昭和の日昭和のままにおらが村 (〃)
理科室の骸骨踊る春休み (〃)

アメリカの強き外交目に余る 陸70柳沢今朝友
新総理外交デビュー満点で (〃)
ひも固し新米望む手が震え (〃)
反戦掲げ法を犯し人命無視 (〃)
平和主義都合の悪い声閉ざす (〃)
開戦の知らせはいつもSNS 陸78井上 武

選考委員 幸田武生、井上武 (〃)
◎7月20日〆切、課題は「記録」です。

事務局 だより

7月の安全保障講座(その2)

●日時 7月15日(水)

14:30~16:00

●会場 陸修偕行社 会議室

●テーマ 中国の武力侵攻に対処する台湾の無人機運用構想

●講師 城戸正志氏(陸自85期)

●参加費 1千円(当日申受け)

7月の近現代史研究会講座

●日時 7月16日(木)

14:00~16:30

●会場 陸修偕行社 会議室

●テーマ 国を護った兵士たちへの慰霊と顕彰／戦没者遺骨収容の現場で見てきたこと

●講師 佐波優子氏

●参加費 (戦後問題ジャーナリスト) 1千円(当日申受け)

8月の安全保障講座(その2)

●日時 8月19日(水)

14:30~16:00

●会場 陸修偕行社 会議室

●テーマ 陸戦における情報戦の状況

●講師 廣恵次郎氏(陸自89期)

●参加費 1千円(当日申受け)

寄付のご紹介

石井清秀 監事様 5万円

千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼

4 陸修偕行社は、左記の通り、令和8年度千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼を行います。靖國神社の英霊と同じように、千鳥ヶ淵に眠る無名の御霊(ご遺骨)に哀悼の誠を捧げ、安らかに鎮まりますことを祈念致します。多くの会員の皆様の御参加をお願い申し上げます。

●日時 9月10日(木)

10:00~10:30

●場所 千鳥ヶ淵戦没者墓苑

●参集場所 千鳥ヶ淵戦没者墓苑内休憩所に09:50迄に集合

●奉仕費 1千円

●参加希望者 (当日、受付にて申受け)

9月8日(火)迄にメールにてお申込み下さい。メール申し込みが不可の場合は、陸修偕行社事務局まで連絡下さい。

●参加希望者

9月8日(火)迄にメールにてお申込み下さい。メール申し込みが不可の場合は、陸修偕行社事務局まで連絡下さい。

●参加希望者

9月8日(火)迄にメールにてお申込み下さい。メール申し込みが不可の場合は、陸修偕行社事務局まで連絡下さい。

●参加希望者

9月8日(火)迄にメールにてお申込み下さい。メール申し込みが不可の場合は、陸修偕行社事務局まで連絡下さい。

●参加希望者

9月8日(火)迄にメールにてお申込み下さい。メール申し込みが不可の場合は、陸修偕行社事務局まで連絡下さい。

●参加希望者

9月8日(火)迄にメールにてお申込み下さい。メール申し込みが不可の場合は、陸修偕行社事務局まで連絡下さい。

●参加希望者

9月8日(火)迄にメールにてお申込み下さい。メール申し込みが不可の場合は、陸修偕行社事務局まで連絡下さい。

7・8月の告知板

7月

6日(月) 中央資料隊OB会

14・30

陸修偕行社

8日(水) 山々会

13・00

13日(月) 陸自69会

12・30

14日(火) 財務調整證券会社

12・30

15日(水) 安全保障講座その2

14・00

16日(木) 近現代史研究講座

14・00

17日(金) 運営企画会議

13・10

18日(土) 編集委会

09・30

21日(火) 福井開基会

13・00

24日(金) カオル会

14・00

8月

6日(木) 編集小(委会)

10・00

陸修偕行社

7日(金) 広報委会

13・30

18日(火) 福井開基会

13・00

19日(水) 安全保障講座その2

14・00

20日(木) 近現代史夏季セミナー

12・00

21日(金) 教育問題委会

13・30

25日(火) 期別会勢拡大大会

13・30

27日(木) 悟杉会

13・00

表紙の写真

「軽井沢白糸の滝」

撮影者 池上 均 陸自73

(偕行フォトクラブ)

編集後記

7・8月号を読んでいます。7・8月号を讀んでいただきありがとうございます。たゞきあります。ご愛読ありがとうございます。連載で終了します。ご愛読ありがとうございます。岡部新理事がとうございました。岡部新理事の新しいコラムにご期待ください。▼世界の大国が自国の利益を露骨に追求する時代を迎え、他国に依存しない平和と独立を実現しなければならぬと思います。今号は、終戦記念日を控え慰霊顕彰、喫緊の課題である自衛官の処遇改善、国土防衛の大きな柱となるドローンなどの投稿をいただき、科学技術などの投稿をいただき、読者の皆様に幅広く軍事や安全保障を考えていただくことができた

ものと思います。▼ナフサ由来の製品が手に入りにくくなり「勿体ない」という無駄を戒める言葉が思い出されます。物の価値が十分に生かされず、無駄になっている状態を惜しむ、自然や命に対する敬意や感謝の心が込められている日本文化そのものです。▼佐藤莊一郎著『ハウスホーファーの太平洋地政学解説』に出会いました。ハウスホーファーは1908年に駐日ドイツ大使館付武官でしたが、その後、ミュンヘン大学で地理学の教授となり、インド洋と太平洋を「有機的で一体の空間」として捉え、海洋学・民族学・言語学などを動員して一つの政治・文明圏として構想しました。力による現状変更の試みに対して同盟国・同志国と協力して守る「自由で開かれたインド太平洋地域(FOIP)」は日本の平和と繁栄を支える「生存圏」

として安全保障・外交・経済安全保障を統合する国家戦略と重なっていると感じます。(勝行)

訃報

謹んで哀悼の意を表わします

陸士60 田中 正和様 令8・5・28

陸士61 飯田 守一様 令8・5・23

熊幼47 山口 圭一様 令8・4・30

陸自61 後藤 武男様 令8・4・8

陸自95 田中多巳夫様 令7・3・25

発行所 公益財団法人 陸修偕行社

〒160-0002 新宿区四谷坂町12-22
VORT四谷坂町5F

電話 03 (6380) 0623

FAX 03 (6380) 0624

振替 00190-8-180617

<https://rikushukaikosha.or.jp/>

編集人 井上 武 (陸自78)

発行人 本庄 俊弘 (陸自80)

印刷所 興和印刷株式会社

〒279-0003 浦安市海楽1-5-11

電話 047(350)6731

FAX 047(350)6735

定価 1部 300円 禁無断転載